



様式1(主な取組)

活動指標名	私立高校生の通学費の支援を行う(支援者数)				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
					163	—	100.0%	7,242	順調	活動概要 私立高等学校等に在籍する低所得世帯等の生徒の通学費の負担を軽減するため、路線バス通学費を支援した。  進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 私立高等学校等15校(163名)の生徒に対し、バス通学費の支援を行った。
活動指標名	—				R2年度					
実績値					—					
活動指標名	—				R2年度					
実績値					—					
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和2年度 of 取組改善案						反映状況				
						<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校を通して、支援の対象となる生徒、保護者あてに本事業の周知を行った。</li> <li>・学校事務担当者に対する説明会を開催し、事業の円滑な実施に努めた。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・本事業は令和2年度から実施された事業であるため、支援が必要とされる世帯への支援となるよう、周知の徹底を図りたい。

##### ○外部環境の変化

・保護者の経済状況の変化により、対象者数が変動することが予想されるが、本制度の周知徹底が必要である。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・申請漏れなどにより、生徒の修学に影響が出ることのないよう、生徒、保護者に対する確実な制度の周知に努める必要がある。
- ・学校に対し、適正な事務の執行に係る指導を行っていく必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・申請漏れなどにより、生徒の修学に影響が出ることのないよう、生徒保護者に対する確実な制度の周知に努める。
- ・学校に対し、適正な事務の執行に係る指導を行う。